|  |
| --- |
| 平成３０年度事業報告書  社会福祉法人全国盲ろう者協会 |

平成３０年度事業報告

Ⅰ．はじめに

　平成３０年度には、障害者総合支援法の個別給付事業である同行援護事業の中に、盲ろう者の移動支援と意思疎通支援を行う仕組みが作られ、従来の盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業とあわせて、盲ろう者のための新たな制度的枠組みがスタートしました。これによって、わが国の盲ろう者福祉は大きく前進するものと評価されます。当協会では、できるだけ多くの盲ろう者が、この新しい盲ろう者向けの同行援護事業を利用できるよう、その普及・定着に向けた事業に取組んできました。

　また、長年の懸案である「日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンター(仮称)」の開設に向けて、平成３０年度から新たに「盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業」を開始し、盲ろう児に関する専門相談をはじめ、全てのライフステージを通して盲ろう者の支援を行う同センターが担うべき事業の先行的試行に取組みました。

　その他、従来から進めている各種の研修事業などについては、厳しい財政状況が続く中ではありましたが、全国の関係者、関係行政機関の皆様などのご理解、ご支援を得ておおむね計画通り順調に実施され、大きな成果を上げることができました。その中でも、千葉県千葉市で開催した「第２７回全国盲ろう者大会」は、第１回アジア盲ろう者団体ネットワーク会議と同時開催となり、２５９人の盲ろう者の参加を得て、参加者総数８９３人の盛大な大会となりました。

　以下に各事業についての実施状況をご報告します。

Ⅱ．平成３０年度実施事業の概要

1．厚生労働省委託事業Ⅰ（盲ろう者向け通訳者養成研修等事業）

　（1）盲ろう者関係生活相談等事業

ア．盲ろう者関係生活相談等事業

　　　 イ．広報誌発行事業

（2）盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修事業

（3）盲ろう者国際協力推進事業

(4）盲ろう者福祉啓発事業

(5) 盲ろう者情報機器活用訓練等促進事業

　　ア．盲ろう者向け情報機器指導者養成研修事業

　　イ．コミュニケーション訓練個別訪問指導事業

　　ウ．全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修事業

(6) 盲ろう者向け通訳・介助員制度の施行準備事業

2.厚生労働省委託事業Ⅱ　(盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業)

　（1）盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業(新規)

3．公益財団法人ＪＫＡ補助事業

　（1）第27回全国盲ろう者大会開催事業

4．公益財団法人鉄道弘済会補助事業

（1）第9回全国盲ろう者体験文コンクール実施事業

5. 三井住友銀行ボランティア基金助成事業

（1）フィリピン盲ろう者支援プロジェクト事業(新規)

6. 日本財団助成事業

（1）アジアにおける盲ろう者団体ネットワークの構築事業(新規)

7．自主事業

（1）盲ろう者関係図書刊行事業

（2）盲ろう者向け情報機器等研究開発支援事業

Ⅲ．事業別実施状況

1．厚生労働省委託事業Ⅰ(盲ろう者向け通訳者養成研修等事業）

（1）盲ろう者関係生活相談等事業

ア．盲ろう者関係生活相談等事業

　盲ろう当事者からの生活相談のほか、全国各地の家族や通訳・介助員、福祉関係者等からのさまざまな相談や情報提供の要請に応えてきました。平成30年度の１年間で、来所、電話、ファックス、メール等を通じて扱った相談件数は、190件となっています。

イ．広報誌発行事業

　わが国唯一の盲ろう関係専門誌『コミュニカ』を２回発行し、盲ろう者、支援者及び関係機関へ送付しました。

　　第57号　　　　墨字版　2,700部　　点字版　490部

　　第58号　　　　墨字版　2,700部　　点字版　475部

※希望者にはデイジー版ＣＤ(デジタル録音図書の国際標準規格)も提供

（2）盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修事業

　　平成25年度から、盲ろう者向け通訳・介助員養成事業が都道府県(指定都市・中核市を含む。以下同じ。)の必須事業とされ、養成講習会の標準カリキュラムが示されたことなどから、平成27年度から内容を見直して、標準カリキュラムに基づいて都道府県が行なう養成講習会の指導者養成に特化した研修事業(中央研修)を実施することとしました。平成30年度は、10月　6日（土）～9日（火）までの4日間にわたって、「全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）」(東京都新宿区戸山)において開催し、全国から受講者として、盲ろう者5人を含む29人が参加し、多くの盲ろう者が講師陣に加わって、講義と実習を行いました。

（3）盲ろう者国際協力推進事業

｢盲ろう者国際協力推進事業｣は、世界盲ろう者連盟加盟各国と連携し、世界の盲ろう情報の収集と、わが国の情報を世界へ発信する目的を持っています。平成30年度においては、全国の盲ろう者に呼びかけて、6月19日（火）から27日（水）までスペインのベニドルムで開催された第５回世界盲ろう者連盟(ＷＦＤＢ)総会及び第11回ヘレン・ケラー世界会議に、３人の盲ろう者(自費参加)とともに参加し、意見交換、情報交換などを行うとともに、世界各国の盲ろう者との交流を深めました。

（4）盲ろう者福祉啓発事業

平成30年度の啓発事業は、岐阜県等に当協会の職員を派遣し、それぞれ地元の友の会との懇談や関係行政機関との協議などを行いました。

（5）盲ろう者情報機器活用訓練等促進事業

ア．盲ろう者向け情報機器指導者養成研修事業

　当協会では、平成18年度から、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、開拓的事業として盲ろう者向けパソコン指導者養成研修事業を実施してきましたが、平成27年度に、厚生労働省において本事業が新たに予算化され、厚生労働省の委託事業として継続的に本事業を実施していくこととなりました。平成30年度は、「点字情報端末ユーザー向け指導者コース」を、7月13日(金)～15日(日)の3日間にわたって、「ＡＰ西新宿」(東京都新宿区)で、「パソコン＋点字ディスプレイユーザー向け指導者コース」を、9月14日(金)～16日(日)の3日間にわたって、当協会会議室で開催しました。受講者は、「点字情報端末ユーザー向け指導者コース」7人、「パソコン＋点字ディスプレイユーザー向け指導者コース」2人で、今後、それぞれの地域において、盲ろう者向け情報機器講習会の講師や個別訪問指導の指導者として活動することが期待されます。

イ．コミュニケーション訓練個別訪問指導事業

　当協会では、平成21年度から、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて盲ろう者に対する情報機器の個別訪問指導事業を実施してきましたが、平成27年度からは、情報機器指導者養成研修事業と同様に、厚生労働省の委託事業として実施していくこととなりました。平成30年度は、全国から募集した3人の盲ろう者に、点字情報端末や点字ディスプレイなどを貸与し、自宅への訪問指導を行ないました。

ウ．全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修事業

　当協会では、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて盲ろう者地域団体のニューリーダー育成研修会を実施してきましたが、平成27年度からは、厚生労働省の委託事業として実施していくこととなりました。平成30年度は、11月 3日(土)～ 4日(日)の2日間にわたって、「クロス・ウェーブ幕張」(千葉県千葉市)で開催し、全国から12人の盲ろう者が受講しました。一日目は、全体会として「友の会の目的と機能」というテーマでの講義と「私が友の会で担っていること」というスピーチのあと、「友の会活動でのリーダーの役割」というテーマでグループ討議を行いました。二日目は、前日に引き続いてグループ討議とその発表及び講評を行った後、全体会として「盲ろう者福祉の基礎知識」というテーマで講演を行いました。また、講師と受講者との間では、活発な意見交換が行われました。

(6)盲ろう者向け通訳・介助員制度の施行準備事業

平成30年度から、同行援護事業の枠組みを活用して盲ろう者の通訳・介助を行う新たな制度が施行されたことを踏まえ、この制度の普及・定着に向けて、全国各地の盲ろう者友の会や行政関係者などへの個別的な説明や意見交換などを進めました。また、3月には、全国の盲ろう者友の会などに呼びかけて、東京都(中央区)において全国説明会を開催しました。27道府県から82人が参加し、全国の盲ろう者及び関係者などへの制度周知や地域における事業所の設置促進を図る上で大変有意義な説明会でした。

なお、平成30年度末において、盲ろう者友の会などが設置・経営する同行援護事業所(本制度に基いて通訳・介助員の派遣を行っている事業所)は、４か所となりました。

2．厚生労働省委託事業Ⅱ　(盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業)

（1）盲ろう者の総合リハビリテーション・システム試行事業

平成30年度の新規事業として、盲ろう者の特性に対応したリハビリテーション・システムの構築(日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンターの開設)を目指した先行的試行事業を実施しました。児童部門においては、盲ろう児の保護者への専門相談や盲ろう児が利用している児童発達支援事業所への訪問指導の準備など、成人部門においては、短期宿泊型の生活訓練事業などを実施して、将来の事業展開に向けて貴重な知見、ノウハウを得るとともに、専門人材の育成という面でも一定の成果を上げることができました。

3．公益財団法人ＪＫＡ補助事業

（1）第27回全国盲ろう者大会開催事業

当協会の設立以来、平成23年度を除いて、毎年度実施されてきた全国盲ろう者大会は、平成30年度は、千葉県の「幕張メッセ 国際会議場」(千葉県千葉市)において、8月31日(金)～9月 2日(日)の3日間の日程で行われました。参加者は盲ろう者259人を含む893人でした。今回は、第１回アジア盲ろう者団体ネットワーク会議と同時並行で開催したため、海外から盲ろう者１１人、通訳・介助者等２２人の参加があり、国際色豊かな大会となりました。会期中には、第1分科会「全国の盲ろう者の生の声を聞く」、第2分科会「盲ろう者の就労」、第3分科会「盲ろう芸能発表会」、第5分科会「スポーツを楽しむには」、第6分科会「「コミュニカ」読者の集い」など、7分科会において熱心な討議や活動が進められたほか、「ふうわ交流広場」では、盲ろう児の相談コーナー、おもちゃで遊べるフリースペースなどとあわせて、アジア盲ろう者団体ネットワーク会議のために参加したタイやインドの盲ろう教育関係者も交えての熱心な情報交換が進められました。また、例年どおり、これらの分科会等と並行して、最新のＩＴ機器や便利グッズの展示、盲ろう者が制作した作品の展示・販売、社会見学なども行われました。

この全国大会については、平成24年度から、全国６ブロックの盲ろう者友の会などが、輪番制で実行委員会を組織して企画・運営を担う形を取ってきましたが、各ブロックを一巡した今大会からは、全国盲ろう者団体連絡協議会と全国盲ろう者協会が企画・運営を担う形としました。また、例年のように多くの企業、団体などの皆様からのご支援をいただきました。

4．公益財団法人鉄道弘済会補助事業

（1）第9回全国盲ろう者体験文コンクール実施事業

公益財団法人鉄道弘済会の協賛による本事業は、平成22年度より始められ、盲ろう者を対象とした文化事業として取り組まれています。平成30年度第9回コンクールは、合計16編の応募があり、審査の結果、次のように入賞作品が決まりました。

(以下、敬称略)

　　　特賞「うれしかった、心に残った支援」　　　田畑　快仁　（神奈川県）

　　　入賞「不思議な魅力」　　　　　　　　　　　林　美喜子　（鹿児島県）

　　　審査員賞「指先から『夢、希望、勇気』を感じた時の喜び」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　本田　真理花　(岐阜県)

特賞受賞者には賞金３万円と賞状、入賞・審査員賞者には賞金１万円と賞状がそれぞれ贈られました。

5．三井住友銀行ボランティア基金助成事業

（1）フィリピン盲ろう者支援プロジェクト事業

フィリピン盲ろう者支援協会と連携して、8月 7日(火)～11日(土)の5日間にわたって、フィリピンにわが国の盲ろう者2人を派遣し、現地の盲ろう当事者、家族、その他の関係者等との意見・情報交換、政府関係者や教育関係者等を対象とした啓発セミナーの開催、盲ろう者のコミュニケーション方法に関する講座の開催を行いました。短期間でしたが、大変に密度の濃い有意義なプロジェクト事業となりました。

6．日本財団助成事業

（1）アジアにおける盲ろう者団体のネットワーク構築事業

アジア各国の盲ろう者に呼びかけて、全国盲ろう者大会と同時並行の形で、第１回アジア盲ろう者団体ネットワーク会議を開催しました。会期は、8月31日(金)～９月３日(月)の４日間、会場は、幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)でした。韓国、ネパール、ウズベキスタン、シンガポール、マレーシア、インド、タイの７か国から、盲ろう者11人を含む３３人が参加して、日本からも３人の盲ろう者が会議に加わり、意見交換、情報交換を進めました。また、同会議の参加者と全国盲ろう者大会の参加者と交流を図る機会も色々と設定され、アジア地域における盲ろう者のネットワーク構築に向けて、大きな一歩を踏み出すことができました。

さらに、盲ろう当事者として国際協力事業に携わることのできる人材を育成することを目的に、３月９日(土)に、戸山サンライズ(東京都新宿区)において「盲ろう者国際協力人材育成研修会」を開催し、全国から7人の盲ろう者が受講しました。

7．自主事業

（1）盲ろう者関係図書刊行事業

「日本版ヘレン・ケラー・ナショナルセンター」開設に向けた検討を具体化していくためには、日本から海外への情報発信も重要であることから、平成28年度から盲ろう者に関する日本の専門図書(「盲ろう者として生きて」著者　福島智)の英訳作業を進めてきましたが、本年度は、この英訳本を刊行して世界各国に頒布することを目的として、クラウドファンディングによる資金作りを試みました。その結果、当初の目標を大きく上回る資金を得ることができたため、２０１９年秋頃を目途として、英訳本を刊行し、各国に頒布する予定です。

（2）盲ろう者向け情報機器等研究開発支援事業

当協会では、これまで様々な機会を捉えては、盲ろう者が手軽に利用できる情報機器等の研究開発を支援してきました。また、公益財団法人テクノエイド協会が行う「シーズ・ニーズマッチング交流会」にも参加して、情報機器等の開発側とユーザー側のマッチングの促進に協力しました。

平成30年度諸統計資料

（平成31年3月末現在）

1．盲ろう者登録数の推移

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| 年度末登録数 | 888 | 934 | 941 | 960 | 978 | 985 |
| 増減数 | +30 | +46 | +7 | +19 | +18 | +7 |

2．重度盲ろう者登録数の推移

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| 年度末登録数 | 673 | 731 | 732 | 743 | 745 | 772 |
| 増減数 | +7 | +58 | +1 | +11 | +2 | +27 |

　(注)　平成26年度において、登録者の障害等級を精査した結果、重度者数が増加しました。

3．盲ろう者関係生活相談件数の推移

（単位：件）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| 方法 | 来所 | 9 | 10 | 6 | 18 | 11 | 9 |
| 電話 | 54 | 71 | 74 | 52 | 101 | 116 |
| 文書・FAX・ﾒｰﾙ等 | 58 | 46 | 52 | 64 | 64 | 65 |
| 内容 | 日常生活 | 8 | 13 | 24 | 35 | 22 | 23 |
| 社会保障制度 | 3 | 0 | 5 | 13 | 14 | 19 |
| 情報提供 | 38 | 62 | 58 | 63 | 85 | 75 |
| その他 | 72 | 52 | 45 | 23 | 55 | 73 |
| 合　　　計 | | 121 | 127 | 132 | 134 | 176 | 190 |

4．盲ろう者向け通訳・介助員登録数の推移

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| 年度末登録数 | 2966 | 3107 | 3049 | 3078 | 3108 | 3144 |
| 増減数 | +275 | +51 | +32 | +29 | +30 | +36 |

5．全国盲ろう者大会参加者数の推移

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 25年度  第22回 | 26年度  第23回 | 27年度  第24回 | 28年度  第25回 | 29年度  第26回 | 30年度  第27回 |
| 開催場所 | 千葉県  千葉市 | 兵庫県  神戸市 | 静岡県  静岡市 | 福岡県  北九州市 | 岩手県  花巻市 | 千葉県  千葉市 |
| 参加者数 | 949 | 924 | 930 | 789 | 711 | 893 |

6．盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講者数の推移

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 25年度  第23回 | 26年度  第24回 | 27年度  第25回 | 28年度  第26回 | 29年度  第27回 | 30年度  第28回 |
| 開催場所 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 |
| 受講者数 | 33 | 32 | 24 | 25 | 28 | 29 |

　（注）平成23年度から平成26年度までは「盲ろう者向け通訳・介助員養成のためのモデル研修会」として開催しました。

7．全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修会受講者数の推移

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 25年度  第3回 | 26年度  (中止) | 27年度  第4回 | 28年度  第5回 | 29年度  第6回 | 30年度  第7回 |
| 開催場所 | 東京都  江東区 | ― | 東京都  江東区 | 千葉県  千葉市 | 千葉県  千葉市 | 千葉県  千葉市 |
| 受講者数 | 32 | ― | 16 | 14 | 11 | 12 |

　（注）平成25年度までは独立行政法人福祉医療機構の助成事業として開催しました。

8．盲ろう者向け情報機器指導者養成研修会受講者数の推移

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度回数 | 25年度  第7回 | 26年度  (中止) | 27年度  第8回 | 28年度  第9回 | 29年度  第10回 | 30年度  第11回 |
| 開催場所 | 東京都  豊島区 | ― | 東京都  豊島区 | 東京都  豊島区 | 東京都  新宿区 | 東京都  新宿区 |
| 受講者数 | 8 | ― | 16 | 16 | 21 | 9 |

　（注）平成25年度までは独立行政法人福祉医療機構の助成事業として開催しました。

9．盲ろう者地域団体（「盲ろう者友の会」等）未設置県

|  |  |
| --- | --- |
| 青森県(平成29年4月に「青森県盲ろう者支援会」設立)　　　　　　　　（計１県） |  |